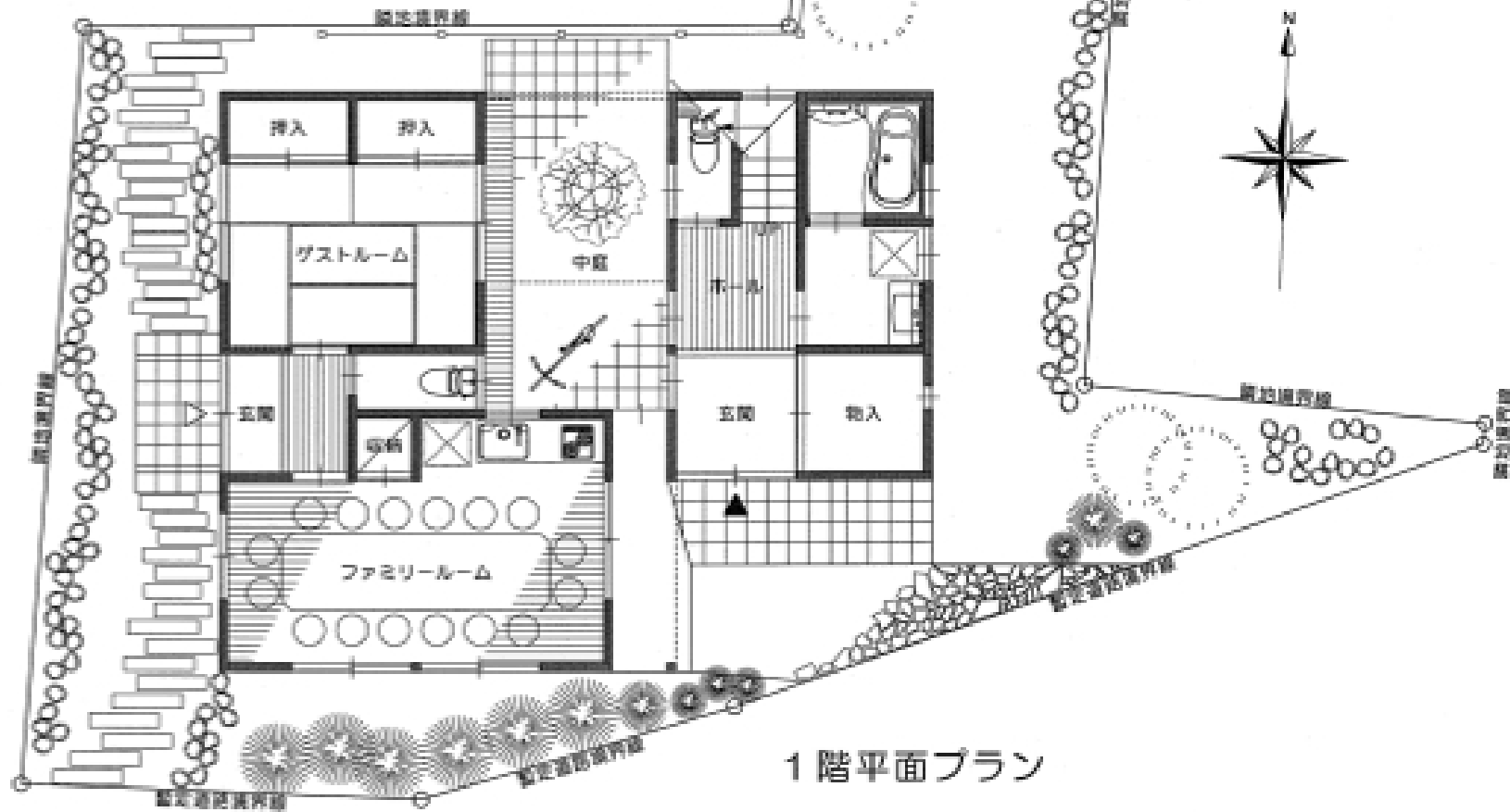


2階平面プラン

至る北側道路へ



1階平面プラン

設計趣旨

規模については、全体的なコストが抑えられ、法的な耐火制限が少なく木の仕上げを多く使える2階建てとしました。

原産材の利用をする上で、流通の多い定尺材で建設可能にするために構造の主要構を9尺モジュールを原則とし構成しました。主梁構と副梁構の概念を基に設計し将来の取り回しやすさや子供に代まで続けられる家造りを採択しました。部材材料の利用を抑えることで山の資源が多い材料を使用し長く使い続けることで廃材を生まない本造建築物とし環境への配慮を行っています。また、その他の仕上げ材においても原則として土に還れる材料にて住まい手と環境に配慮をします。

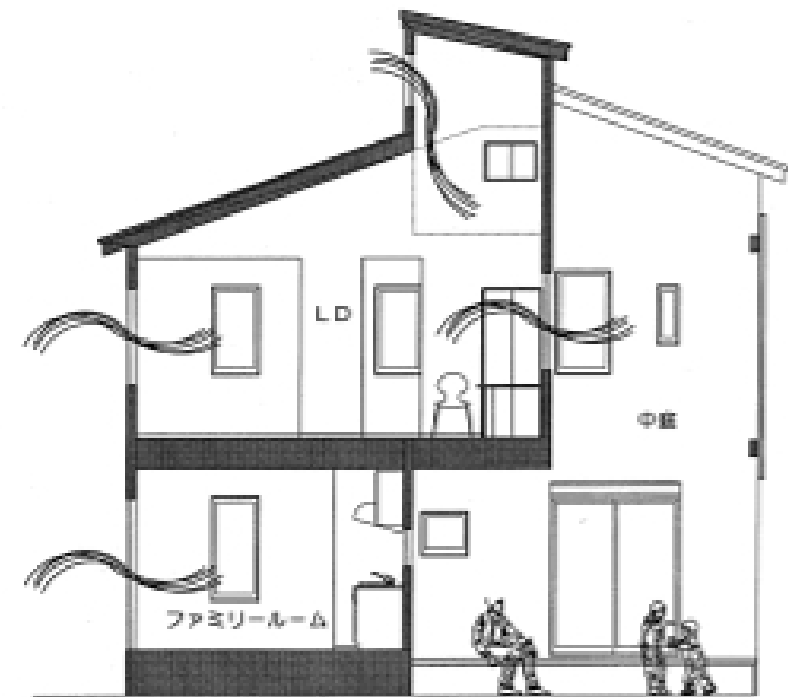
1階は、同一建物ながらもプライベートスペースとパブリックスペースを完全に分離しその間に通り抜けが出来る中庭を設け空間にゆとりを持たせました。2階は、キッチンや各部屋を出た位置より全体が見渡しやすい配置となっています。見渡せる位置関係が家族間の存在を確認できる様になります。リビングの中庭向きにあるスタディーコーナーは、2階スペースの中心に存在し常に周囲の状況を感じ取る事が出来る開放的な空間となっています。

家事の動線としては、メンテナンス周期の早いUVLコーンの設置をせずに中庭を大きく設け洗濯機置場と同じ階にある中庭での洗濯干しをすることが出来ます。この中庭は道路側よりの視線を通った形状を持っていてプライバシーを確保することが可能です。中庭には、屋根がかかる部分を設けてありますので自転車を置いたり濡れて欲しくないけど外においておきたいものを置くスペースを確保しました。

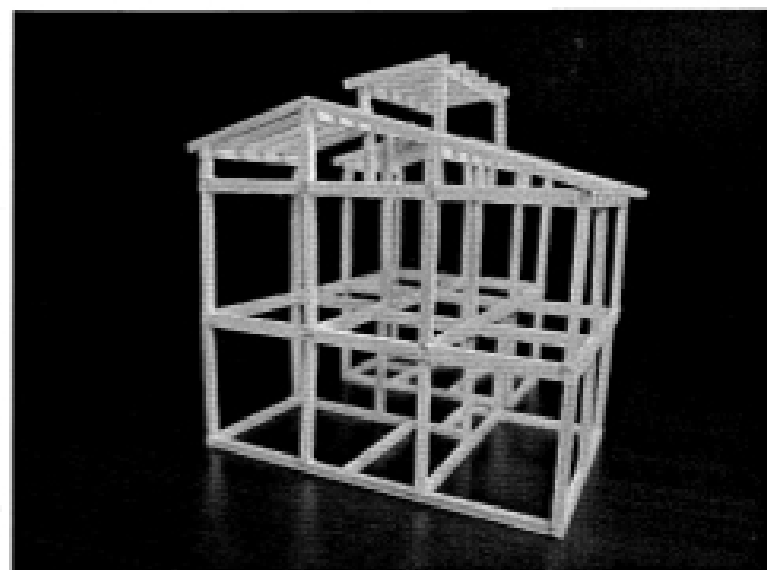
1階へ浴室、洗面を設けるもう一つの大きな理由として、ゲストルーム用にもう一つ設けることは不経済と考え中庭を通じて利用出来る同一階への設置としました。このことによりゲストルームのお客様がプライベートスペースを通過することなく利用できます。

建物概要 m²(坪)

敷地面積	190.60 (57.65)
建築面積	64.59 (19.53)
1階床面積	56.31 (17.03)
2階床面積	64.59 (19.53)
ロフト床面積	4.96 (1.50)
延べ床面積	120.90 (36.57)
建ぺい率	(64.59/190.60)×100
	33.88%
容積率	(120.90/190.60)×100
	63.43%



エアプラン図

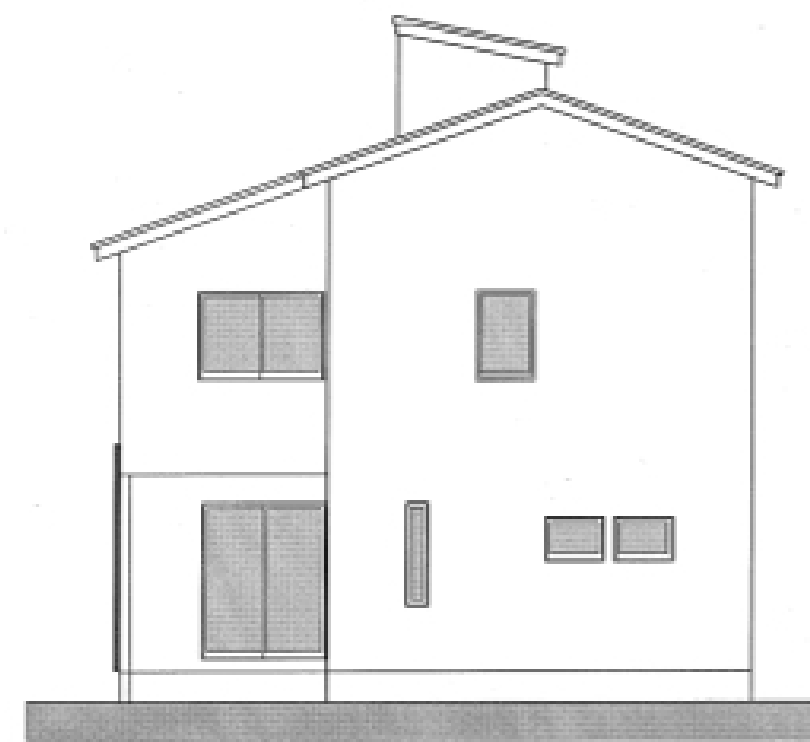


主架構イメージ写真①



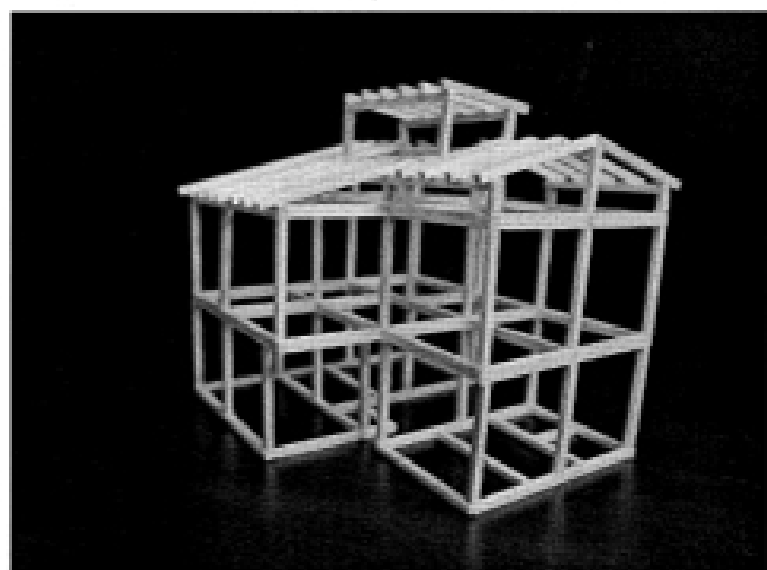
南側立面図

木製格子
道路より中庭への直接の視線を通る

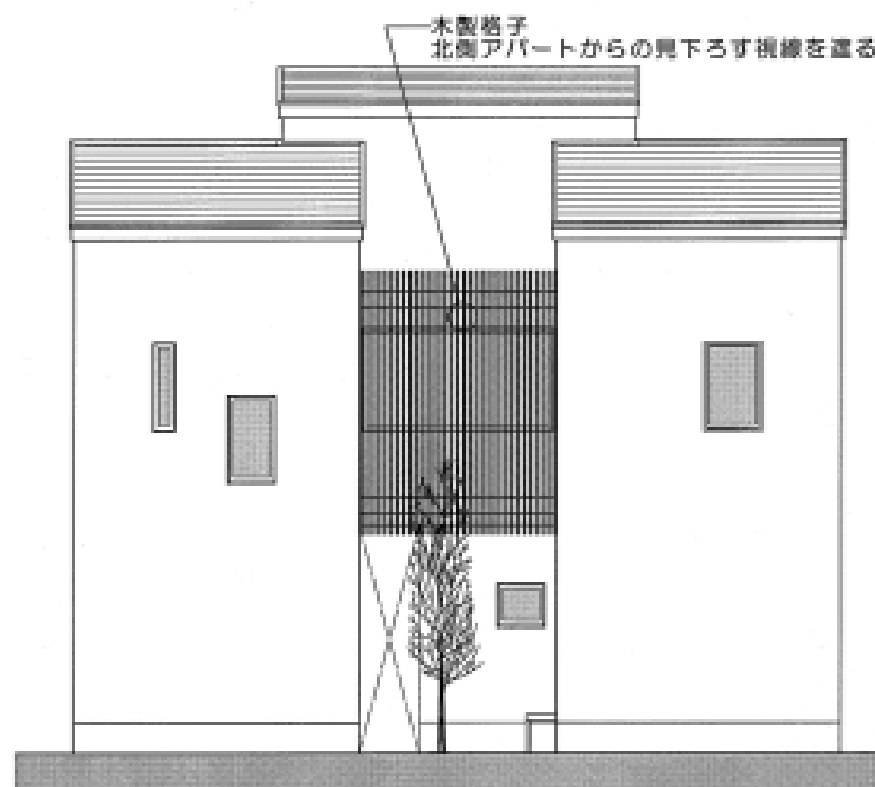


東側立面図

※外壁一般部は、珪モルタル左官仕上げ（想定）



主架構イメージ写真②



北側立面図



西側立面図